

認知症でんよかろうもん! ひとりの「人」として接してほしいかも ～「グループホーム」地域で暮らす安心・安全～

開催日時 令和3年11月10日

今年は福岡県
久留米市にて開催!

職員研修に活用を!

協会初の
ハイブリッド
大会

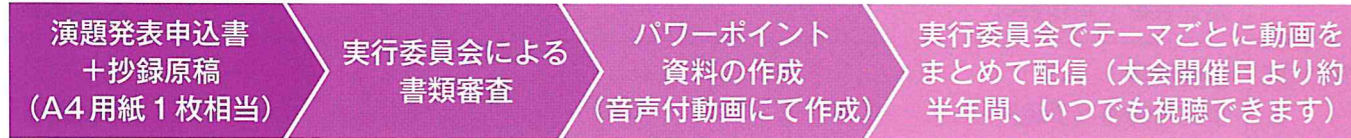
これまで遠方のため参加できなかった方、
費用の関係で職員の派遣ができない方、
今年はオンラインで参加できます!



本大会は協会初のハイブリッド大会!会場での実開催の他、オンラインによる配信も実施いたします。これまで遠方のため参加できなかった方、現場の都合で大会参加を見送られていた方、大会参加するための費用の関係で職員の派遣が出来なかった方々に朗報!本大会では参加費は「事業所単位」となります。事業所の職員の方はどなたでもオンラインでご参加いただけるうえ、一定期間再視聴が可能となっていますので、リアルタイムで見られない職員の方も後日視聴参加できます。役に立つ基調講演も、特別講演や教育講演の面白い講演も、グループホームを中心に考えた防災・感染症対策などに関するシンポジウムも、全国の仲間たちが行っている取組みの演題発表も、すべて見放題!職員の教育や研修にも活用できますので、これまで参加できなかった事業所もぜひご参加ください!

●分科会の発表申込について

今年はオンライン発表形式となります。時間を制約されることがなく、会場に参加するための旅費・交通費も不要です。他の演題が見られなくなるから発表を諦めていた方、発表中のため他の演題を見られなくて残念に思われてた方もご安心ください!今回は再視聴可能な期間中であればいつでも何回でも全ての演題をご覧いただけます。演題発表に関する流れは下記の通りとなります。なお、具体的な募集演題テーマやその趣旨、演題発表申込用紙や抄録原稿様式のダウンロード、パワーポイントデータの作成方法や提出方法については、大会ホームページをご参照ください。



演題発表・抄録原稿の申込締切は7月15日(木)必着です

●大会プレ企画:グループホーム経営を大いに語る場

第1部 厚労省に聞いてみよう!

今大会では、厚生労働省のご協力のもと、協会の皆さんが映像に撮った「尋ねたいことや話したいこと」に、グループホームご担当の方が直接お答えくださるという機会をいただきました。(事前収録が必要ですので詳細は事務局までお問い合わせ下さい。応募数によっては全てにお答えいただけない場合もあります)

第2部 経営を大いに語ろう!

今回の報酬改定では基本報酬も上がったものの、昨今の新型コロナや自然災害や慢性的な人手不足は、今までの「経営を成り立たせつつ質の高いケアを目指す」という構えだけでは成り立たなくなっています。今はどんな時代なのか、乗り越えるために何をしているのか。経営を大いに語りましょう。

開催地

福岡県久留米市(久留米シティプラザ 5F大会議室)

※今回は実開催+オンライン開催のハイブリッド式

大会参加費

1事業所あたり(会場での実参加の場合もオンライン参加の場合も同一料金です)

日本GH協会事業所:10,000円 協賛団体事業所:12,000円 非会員事業所:15,000円
利用者・家族・学生・運営推進会議委員等は参加費一人あたり2,000円

※今大会は会場での実参加のほか、オンライン参加も可能なハイブリッド大会です。大会への参加は事業所単位となります。同一事業所の職員であれば参加(視聴)人数に関係なく参加費は一定となります。会場参加+オンライン参加も可能です。

大会参加定員

会場実参加者:150名(先着順)
オンライン参加:定員なし

大会サイトはこちら



メール問合せはこちら



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため当日会場への入場をお断りさせていただく場合があります

参加申込み・問合せ先

大会サイト: <https://www.gkkyo.or.jp/user-rights/competition>

問合せ先: 福岡大会実行委員会事務局 担当: 横山・橋口・川口

Ghkyofukuoka2021@gmail.com または 日本認知症グループホーム協会事務局
TEL: 03-5366-2157 担当: 片山 ●電話対応: 平日10時~16時(土日祝日は休業)

参加申込締切日: 8月31日(火)まで

主催者 ●公益社団法人日本認知症グループホーム協会



高良大社

災害、感染症と闘っている全国の皆さん！ 協会初のハイブリッド大会！ 職場研修で活用しませんか？

ワクチン接種がスタートしたとはいえ、さぞかし大変なご苦労をされていると思います。こうした状況のなか、一年延期した第22回日本認知症グループホーム全国大会「福岡県大会」は、久留米市を拠点とした現地開催とウェブで全国を結ぶ、協会初の「ハイブリッド大会」とする事としました。

厚生労働省からは介護報酬改定とグループホームへの期待を、認知症や認知症介護に先進を走る講師の方々の講演では新型コロナ時代の認知症ケア等について講演頂きます。加えて、分科会発表も含めて繰り返し職場の研修に役立てられるよう、大会参加の事業所には一定期間オンラインでの視聴が出来るように致します。

さらに、この様な条件を活かすために、大会参加はこれまでの「個人参加」から、「事業所単位の参加」として、参加事業所の「だれもが、いつでも、何回でも」参加（視聴）できる「ハイブリッド大会」方式といたします。このように、これまでにない規模で、全国の事業所からの参加を頂けるよう、実行委員会は万全の準備を進めています。

今回の大会テーマは『認知症でんよかろうもん！ひとりの「人」として接してほしい』としました。認知症の方の思いに寄り添い、その人らしさを大切に安全で安心できるグループホームでの生活を作るために、今何が求められているのかを共に考え合いたいと思います。

サブテーマは、『グループホーム・地域で暮らす安心・安全』とし、地震や津波、風水害などの災害だけでなく、今回の介護報酬改定で強調された感染症対策の強化や事業継続の取組みを視野に入れて深めたいと考えています。

全国の関係者の皆さん！
新たな情勢のなか、認知症グループホームに求められる課題を大いに学び、実践と経験を通して深め合う全国大会にしようではありませんか！

大会講師の方々



十河 孝男氏

1947年生まれ、香川県出身。1966年に香川相互銀行（現香川銀行）に入行。同銀行で6年間働いた後、縫製メーカーを経て1984年義父が経営する徳武産業に入社し、急逝した義父の後を継いで社長に就任。1995年に主力商品である高齢者用ケアシューズ「あゆみ」を完成させた。2019年7月、販売累計1,500万足を達成。



山口 晴保氏

1976年群馬大医学部卒業。大学院で神経病理学を学び1980年に神経内科入局。アルツハイマー病研究を開始。その後、PT・OTの教育に携わりリハビリ専門医。2016年群馬大学教授から認知症介護研究・研修東京センター長。認知症ポジティブを提唱。日本認知症学会名誉会員・専門医、協会の有識者懇談会委員。



朝田 隆氏

1955年生まれ。1982年東京医科歯科大学医学部卒業。2001年筑波大学臨床医学系精神医学教授、2014年東京医科歯科大学特任教授、2015年筑波大学名誉教授、2020年東京医科歯科大学客員教授。認知症の早期発見・早期治療のための専用クリニック「メモリークリニックお茶の水」理事長・院長。

11月10日開催 大会メインプログラム

時間	内容	
9:15	(現地) 受付開始	
9:45	開会式 開会宣言 大会実行委員会委員長 重永 啓輔 大会長(主催者) 挨拶 会長 河崎 茂子 来賓祝辞、来賓紹介 表彰式 協会表彰、演題表彰	大会議室
10:15	基調講演 厚生労働省(予定)	大会議室
11:15	特別講演 「歩きたい！歩ける喜び！に、真心を込めた靴を届けて～感動のオンリーワン企業を目指して～」 徳武産業株式会社(あゆみシューズ) 会長 十河 孝男氏	大会議室またはオンライン講演
12:15	休憩	
13:30	シンポジウム グループホームのあたり前の暮らしとは何？ 災害・感染症の中で安心・安全を作る！	大会議室
15:30	教育講演A 「認知症でもよかったい！ばりすいとーよグループホーム～安住の場であるために～」 認知症介護研究・研修東京センター長 山口 晴保氏	大会議室またはオンライン講演
17:00	教育講演B 「コロナ時代の認知症ケア」 筑波大学名誉教授/メモリークリニックお茶の水 院長 朝田 隆氏	オンライン講演
18:30	閉会式	

今年のシンポジウムは以下の内容で実施します！

「グループホームのあたり前の暮らしとは何？災害・感染症の中で安心・安全を作る！」

2年にわたるコロナ禍での生活。さらに地震、水害など、近年今までにないほどの災害に見舞われている今日。地域のなかのグループホームとして、認知症高齢者の生活を支えるプロとして、地域に、ご利用者に安心・安全を提供するために何ができるかをこのシンポジウムで考えてみたいと思います。

